

南山学園中期計画ならびに事業計画・事業報告（2025年度）

2 個別計画

《2-6 南山大学附属小学校》

南山学園中期計画				マイルストーン					2025年度				
大項目	中項目	小項目	具体的な達成時期・達成指標等	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	事業計画	事業報告	事業計画評価 (:1)	中期計画評価 (:1)	
(1)学校としての戦略	(1)-1 南山学園が掲げる4つの教育理念の具体化	(1)-1-1 ・教育課程特例校としてカリキュラム改善	(1)-1-1-1 特例校申請により3、4年生における外国語活動の時間を確保し、また、5、6年生において探究的な活動とおして言語活動の充実を図る。	教育課程特例校開始1年目 成果と課題の検討	前年の成果と課題に基づく改善				4月に特別の教育課程の編成の方針等をWebページで公表する。3月に実施状況を自己評価し、その結果公表の準備をする。 教育課程特例校としての特別の教育課程をWebページやパンフレットに掲載し、学校説明会での説明を行う。				
		(1)-1-2 ・宿泊学習を核とした特色ある教育活動	(1)-1-2-1 宿泊学習検討委員会を中心として、宿泊学習及び事前、事後指導の内容を南山小の特色といえるものにする。	検討委員会による提案の検討と実施					月に1回程度、検討委員会を開催する。9月に宿泊学習計画案を職員会議で提案する。1月に複数の旅行代理店に見積書を依頼する。				
		(1)-1-3 ・広報の工夫	(1)-1-3-1 学校説明会、授業見学会、パンフレット、Webサイトの活用等において南山小の特色を広く伝える工夫をする。	Webページ、学校紹介動画リニューアル	入試進路部による提案の検討と実施					Webページを刷新することで、特色がより伝わるよう見やすくしていく。学校説明会では、具体的な児童の姿を紹介していくことでよりよい発信を行っていく。			
		(1)-1-4 ・入試の改善	(1)-1-4-1 入試プロジェクトチームを中心に、受験者にとって負担が小さく、かつ、アドミッションポリシーに合った児童を受け入れるための入試の改善を図る。	プロジェクトチームの提案の検討と実施 考査試験・面接試験の日程変更						プロジェクトチームを中心としつつ、全職員が一丸となって取り組む入試を実現していく。前年度の振り返りを分析し、受験者にとっても教職員にとってもよりよい考査試験・面接試験となるように改善を図り続けていく。			
(2)教育・研究	(2)-1 南山学園が掲げる4つの教育理念の具体化	(2)-1-1 ・宗教的な体験活動の充実	(2)-1-1-1 静修、クリスマス会、校外学習や宿泊学習におけるミサ（または、お祈りの会）を改善し、よりよい体験とする。	宗教科の提案の検討と実施					行事等における宗教的活動の重点について宗教科が提案する。活動後、児童にとってどんな意味をもつ体験となったか検討する。				
		(2)-1-2 ・「がんばりタイム」の改善	(2)-1-2-1 「がんばりタイム」の検討委員会を設け、目的や取り組み、評価の在り方を見直す。	研究・研修部による検討と資料収集					研究・研修部で「がんばりタイム」の改善点についてリストアップし、対応策について検討するとともに、ソフトや環境整備の資料を収集する。				
		(2)-1-3 ・学校間交流、海外研修の継続	(2)-1-3-1 台湾聖心小学校との相互交流を継続するとともに、オーストラリアの小学校とより深い交流ができるようにする。	オーストラリアのSt. Brigid's校を訪問 台湾聖心小学校を訪問	オーストラリアのOLA校を訪問 台湾聖心小学校の児童受け入れを訪問	オーストラリアのSt. Brigid's校を訪問 台湾聖心小学校の児童受け入れを訪問	オーストラリアのOLA校を訪問 台湾聖心小学校の児童受け入れを訪問	オーストラリアのSt. Brigid's校を訪問 台湾聖心小学校の児童受け入れを訪問	夏休みに6年生の海外研修を実施する。 St. Brigid's校と交流する。 春休みに5年生の学校間交流を実施する。 今年度は台湾を訪問し、台湾聖心小学校と交流する。				
		(2)-1-4 ・「真教育」研究会の実施	(2)-1-4-1 2019年度以来の「真教育」研究会を再開し、研究実践を進める。	「真教育」研究会開催（2月）	「真教育」研究会への準備（1年目）	「真教育」研究会への準備（2年目）	「真教育」研究会開催（予定）	「真教育」研究会への準備（1年目）	2月に「真教育」研究会を実施する。今年度は教育関係者のみを対象とし、複数の教科において研究発表を行う。				
(3)施設・設備	(3)-1 南山学園建物施設設備のライフサイクルに基づく施設・設備の整備	(3)-1-1 ・教室のプロジェクター設置	(3)-1-1-1 ICTを活用した授業を効果的に行うために、1～6年生の全教室に順次プロジェクターを設置する。	6、5年生教室に設置	4、3年生教室に設置	2、1年生教室に設置			教室に設置するプロジェクターの使用目的と導入機器について検討する。				
		(3)-1-2 ・グラウンドのメンテナンス	(3)-1-2-1 2023年に全面張替えした人工芝を維持するために計画的にメンテナンスをするとともに、鉄棒や遊具の安全点検や補修を定期的に行う。	年次計画に沿って整備・修繕					人工芝については、適切なメンテナンスを行うことで良い状態を長く維持できるようにする。職員による月に1回の安全点検と業者による定期点検を併用することで、児童の活動場所の安全を保つようにする。				
		(3)-1-3 ・特別教室の活用	(3)-1-3-1 PC室、児童会室、学習室、語学教室の活用の仕方を見直す。	PC室、児童会室の見直しを実施	学習室、語学教室の見直しを実施				PC室、児童会室の新たな活用の仕方を考え、再整備をしていく。その後、学習室、語学教室の有効な活用方法を考え、整備していく。				
(4)社会・地域貢献	(4)-1 地域との連携や行事への参加	(4)-1-1 ・地域清掃	(4)-1-1-1 いりなか商店街発展会と連携した地域清掃を継続する。	11月末頃3～6年生(1,2年生は校内)					保護者会わかみどりやいりなか商店街発展会とも連携し、1・2年生は校内、3～6年生は地域（学校周り）の清掃活動に取り組むことで、地域への貢献を続けていく。				
		(4)-1-2 ・聖歌隊、アフタースクール講座	(4)-1-2-1 聖歌隊やアフタースクール講座が地域の行事で発表することや、病院や老人ホームにおける聖歌隊の歌唱奉仕を継続する。	聖歌隊、アフタースクール講座の参加(希望)					地域の行事への参加や対外試合を計画し、実施する。 野球の講座を新設する。				
		(4)-1-3 ・隼人池公園の花壇	(4)-1-3-1 隼人池公園の花壇の花植えや管理を継続し、昭和区隼人池公園特定愛護会との連携も図っていく。	有志による管理6月6年生、10月5年生各有志による植え					隼人池公園の花壇の花植えは、保護者にもご協力いただき、高学年有志の毎年の行事として定着してきている。今後も隼人池公園特定愛護会の方との連携も取りながら続けていく。				
(5)財政計画	(5)-1 「南山学園財政にかかる中・長期目標」の実現	(5)-1-1 ・授業料	(5)-1-1-1 年次計画に従って授業料を上げていく。	新1年生から月額2,000円の値上げ			新1年生から月額2,000円の値上げ	新1年生授業料を2,000円増に改定することで、2,160千円収入増(入学定員ベース)となり、教育環境整備・改善に使用する。					
(6)組織運営と人材育成	(6)-1 5つの主要部会の再編と少経験者を中心とした研修の充実	(6)-1-1 ・校務分掌における各部の役割の見直しや再編	(6)-1-1-1 教務部、研究・研修部、生活指導部、入試・進路部、家庭連携部の役割を見直し、必要に応じて再編する。	研究・研修部の見直し	家庭連携部を中心とした見直し	各部再編後の役割の調整			各部の見直しを図っていく。まずは、研究・研修部、次に家庭連携部など、部の内容や役割を見直し、改編を図っていく。				
		(6)-1-2 ・少経験者研修	(6)-1-2-1 新規採用職員の増加に伴い、少経験者を中心として南山小の基盤となる指導の継承と充実を図る。	1、2年目研修	1～3年目研修	1～3年目+希望者研修	1～3年目、5年目+希望者研修	研修計画に沿って、南山小で学ぶべきことの研修を行う。また、特に少経験者には、担当者をつけてきめ細やかな指導を行っていく。					

*1) 評価欄は、○(完了・緑)、△(進行中・黄)、×(未取組・赤)、- (実施対象年度以前・白)で評価する。
進捗を把握するため○(1点)、△(0.5点)、×(0点)、- (0点)で算出する。